



友人もまったく同じ体験をしたらしく、どうやらこれがホルミンス効果なのだと盛り上がった。

翌朝、驚くほど爽快な気分が目覚めた。朝は二日酔い気味で早起きさせられるのが温泉宿の常だが、プチ湯治の朝はさすがの目覚めが良い。

断崖絶壁に建つ国宝三徳山投入堂を見学に行くという友人（少し元気になったらしい）と別れて、この日はひとり足を延ばして倉吉という町を訪れた。

倉吉市は江戸時代からの白壁土蔵群などが残る情緒豊かな町で、今調べてみると、人口五万人ほどである。

もちろん、倉吉では白壁土蔵群など見学して回ったのだが、この規模の地方都市に来ると、なぜか地元のショッピングセンターに無性に行きたくなってしまふ。いわゆる街道沿いにある大型ショッピングセンターといわれるもので、広い駐車場があり、マクドナルドをはじめ、書店、雑貨、洋服店などが入っているところだ。東京に暮らしているのだから、買い物ぐらいいくらでもできるだろうと笑われるのだが、なぜかこの手のショッピングセンターに入ると、何をかうでも何をするでもなく、長い時間を過ごさせてしまふ。休憩所のベンチに腰かけ、幼い子供を連れてまた若い両親の滝刺とした様子や、制服姿でテート中の高校生カッパル、またはなぜか若者向けブランド店で仲良く服を選んでいる老夫婦などを見かけると、なんとも言えない幸せな気持ちになるのだ。更に言わせてもらえば、自身の地元長崎でもそうだが、この手のショッピングセンターに入ると、今、日本で実際に何が流行っているのかがはっきりと見えてくる。

いやいや、それを見るなら東京でしょう、と思われるかもしれないが、東京というのはある意味、試験の場で、そこで